



平成23年5月6日

各位

上場会社名 株式会社 岡村製作所
代表者 代表取締役社長 久松 一良
(コード番号 7994)
問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 佐藤 潔
(TEL 045-319-3445)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、当社グループにおいて損害が発生したことから特別損失を計上するとともに、平成22年5月11日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	164,500	2,800	3,300	1,900	17.23
今回修正予想(B)	169,300	2,400	2,500	600	5.44
増減額(B-A)	4,800	△400	△800	△1,300	
増減率(%)	2.9	△14.3	△24.2	△68.4	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	161,223	1,357	1,910	545	4.95

修正の理由

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により、当社の最需要期である3月度オフィス環境事業の売上が伸び悩み、営業利益、経常利益は予想を下回る見込みです。また、当社グループが保有する固定資産、たな卸資産等が被害を受けたことから、見積り計上を含めたこれらの被害金額1,192百万円を特別損失(災害による損失)として計上することといたしました。

従いまして、平成22年5月11日発表の通期連結業績予想数値の修正を行うものであります。

(1) 特別損失(災害による損失)の内訳

固定資産の被害	748
たな卸資産の被害	280
修繕費	60
その他	103

計 1,192百万円

(2) 東日本大震災による影響

1) 人的被害について

当社グループの従業員については、人的被害は発生しておりません。

2) 主な生産拠点の被害状況について

- 株式会社 エヌエスオカムラ(岩手県釜石市)
地震及び津波により、建物、機械設備、たな卸資産等に被害が発生しており、被害金額は約940百万円を見込んでおります。
- 当社 つくば事業所(茨城県つくば市)
塗装ラインの一部に損傷が発生しており、被害金額は約40百万円を見込んでおります。

3)物流拠点の被害状況について

関東、東北を中心とした当社工場、配送センター及び子会社におけるたな卸資産については、地震による荷崩れ等の被害が発生しており、被害金額は約90百万円を見込んでおります。

4)平成24年3月期以降の影響

当社の生産拠点につきましては、通常どおりの操業を開始しております。被災した子会社及び協力会社につきましては、他の生産拠点において代替生産を行うとともに、早期復旧を目指しております。また、物流体制につきましても、震災直後は一部に納入遅延が発生いたしましたが、現在は解消されております。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、今後の不確定な要因により実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。

以 上